

仲間

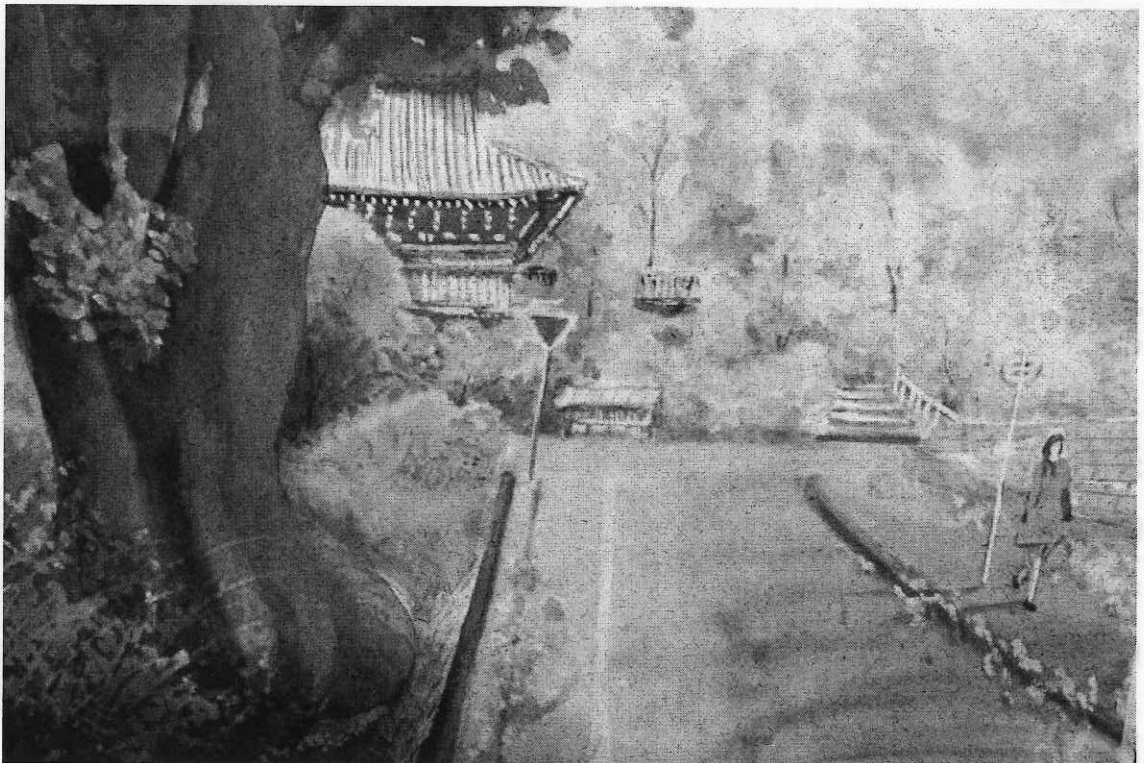
nakama

主な内容

- みんなで取り組む課題..... 2
- おしらせ..... 3
- 職場紹介・宇治市営駐輪場..... 4
- 女性部・秋の宣伝行動..... 5
- 日本高齢者大会in京都..... 6・7
- 公害と環境問題..... 8
- 日常のこと、まちがいさがし..... 9
- 京都の催事案内、1月のお月様..... 10
- 行楽・佐渡島..... 11
- 編集後記、まちがいさがしこたえ..... 12

発行所

全日本建設交運一般労働組合 (建交労)
京都 事業団・高齢者部会
〒601-8103 京都市南区上烏羽仏現寺町43番地
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp
発行日 毎月15日 一部30円
No.321 (2022年) 12月号



豪壮な日本一番・知恩院の山門を少し入れての紅葉を

上林常哲

みんなで取り組む課題

第1回支部執行委員会は11月16日に行い、11人が参加し、以下のとおり報告・討議しました。

1. 職場のこと、仲間のこと

○女性部Ⅱ定例の四条烏丸の宣伝行動を行った。今回は丹波・丹後からも参加あり9名での行動。また、中央女性部の総会がオンライン会議で行われた。関西合同支部事務所で視聴。

○向島ニュータウンⅡ年末年始の作業調整を始める。
○金閣寺Ⅱ落葉で作業量増大、外国人観光客も急増。
○ワークセンターⅡ年始の鴨川清掃の実施が決まる。
○京都事業団事務局Ⅱコロナ感染者増加で交代要員など人手不足。ハローワークで募集しても、80歳近い応募はあるが、未経験の75歳以上では採用が難しい。

2. 支部大会の総括

- ① 議案討論では、発言者4人。
- ② 議事運営での改善点。
 - 選管委員は複数名に事前にお願いすべきだった。
 - 半日の大会に代議員証は必要なのか、検討必要。
- ② 新執行部での担当分野を確認。

3. 行事報告・情勢報告

- ① 11月2日のハローワーク前アンケート活動と、建交労組織拡大の駅頭宣伝行動に、支部より9名参加。その他、府本部及び京都総評より参加あり。
- ② 10月23日、建交労全国事業団・高齢者部会「第59回事業団・高齢者・介護ヘルパー運動交流集会」に支部より5名参加（会議内容は前月『仲間』で紹介）。
- ③ 宇治分会、駐輪場の公募の状況。

4. 行事予定、その他

- ① 第35回日本高齢者大会（11月23・24日）。
- 参加者は支部組合員のべ9名、ほか3名で確定。
- ② 京都事業団・新入団員説明会（11月28・29日）。
- 全体で1時間。事業団は川口副理事長が説明。事業団設立の目的と歴史、就業規則の解説。
- 労働組合と会館共済会の説明資料と規約を配布し、団員は労働組合と共済会に加入することを説明。
- ③ 京都支部「新春旗びらき」。
 - 1月18日(水)で、昨年同様に執行委員会の後、午後2時30分〜午後4時で開催予定。
 - 文化行事などの催し物の検討。
 - 案内と参加申込を『仲間』12月号で配布。
- 次回執行委員会は、12月21日(水)午後2時より開催。

お知らせ

2023年新春旗びらき

2023年1月18日(水曜日)午後2時半～4時
 京都高齢者会館4階「ふれあいホール」

事業団で働くみんなのアンケート 回答・返信にご協力ください！

アンケートにお寄せいただいたご意見は、国
 や自治体への要請などの貴重な資料となります。
 組合員の皆様のご協力をお願いします。

先月号でアンケート用紙と返信用封筒
 をお配りしました。返信用封筒は切手不
 要です。年内をめぐりに、アンケート用紙
 にご回答いただき、ご投函ください。



「仲間」(1月号) 原稿募集

新春にふさわしい新鮮で楽しい紙面にとっています。
 皆さんの投稿をお願いします(写真もあればよろしく)。
 投稿は年内をめぐりに、組合事務所までお寄せください。

- 《テーマ》
1. 年男、年女のご紹介と抱負
 2. わが家のお正月
 3. お正月の過ごし方
 4. 初夢・こんな夢をみたい、などなど

ひろば

職場紹介

宇治市営駐輪場

宇治事業団・宇治分会 嘉村 茂さん

宇治市は財政悪化を理由に、2018年2月発令で「宇治市財政健全推進プラン」を策定、公民館の縮小や公共施設の民営化を目的に「宇治市公共施設運営検討委員会」を設置、市営駐輪場も対象になりました。

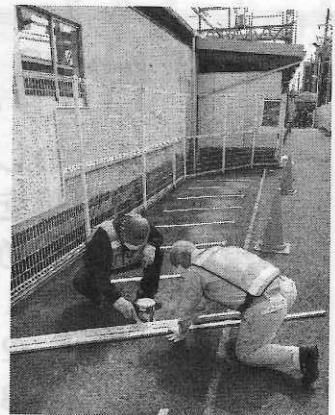
検討委員会の方向は、駐輪場管理業務の委託先を、今までの随意契約から公募制へ移行することになり、先行的に2020年に暫定3年間契約で、業者の廃業に伴い新規開業の近鉄伊勢田駅前駐輪場の指定管理者公募を実施。3社競合となって、大

阪の業者が受注しました。

指定管理者の選定は、130点満点の点数制で審査され、入札金額は一項目にすぎず、利用者へのサービスなど選定基準が多種に渡り、宇治高齢者事業団としても大変危機感を抱き、次年度からの京阪三室戸駅前駐輪場ほか6カ所の管理者公募に向けて「市民サービス向上・業務改善実行委員会」を立ち上げて「安心・安全・快適な駐輪場」を目指し、労使一体となって取り組みました。

山本分会長が多忙で、私が改善委

員会に参加し、事業団理事者と共に全団員が協力して、制服ベストの導入、施設リフレッシュ作業、ホームペー



▲団員の駐輪場施設のリフレッシュ作業

利用者へのアンケート実施、「輪輪ニュース」の発行など数々の施策を行い、宇治市長や宇治市会議員へ要望書の提出も行いました。

公募申請書の作成、選定委員会へのプレゼンテーションに当たっては「公募申請検討委員会」を作り、労使一体で対応しました。

その結果、今回公募の管理者選定に対して、現在受託している駐輪場で、引き続き今後5年間の受注契約を勝ち取り、40数名の団員の雇用が維持できることになりました。

この間、執行委員会に出るたびに私のボヤキを聞いて下さり、アドバイスをいただいた執行委員の方々に、感謝しかありません。



▲▼宇治市営京阪木幡駅前自転車駐輪場



建交労京都府本部女性部秋の宣伝行動

建交労京都府本部女性部委員
京都高齢者事業団 藤原美佐子さん



11月11日、四条烏丸近辺で『建交労京都府本部女性部・秋の宣伝行動』を行いました。女性部では春と秋に宣伝行動を行っています。前回の春の宣伝行動や、女性部定期総会に

初めて参加してくださった事業団の団員さんも参加していただき、「またいつでも声かけて！」と、嬉しいお言葉もいただきました。京都支部から2名、全体では9名が参加しました。遠く福知山や峰山からも参加があり、久しぶりに賑やかな宣伝行動となりました。

お昼休みをねらい、それぞれが「ひとりからでも入れる労働組合です」のリーフレットを、ティッシュとともに「建交労です。どうぞお読み下さい。お願いします」と元気よく、女性の方を対象に配布しました。

この日はお天気にも恵まれ、用意していたリーフレット300部が30分たらずでなくなりました。折りたんだのであるリーフレットを広げて見られる方、また「ご苦労様！」と声もかけていただき、少し嬉しい気持ちになりました。

コロナ禍の影響もあり、まだまだ不況が続くなか、悪条件を強いられるいる派遣社員の方、パート職員の方

方も少なくないと思います。そんな人たちのために、ひとりで悩まず相談できる場所があるということも多くの方に知ってもらい、少しでも力になれればと思っています。

なんととっても楽しみなのは、行動後のみんなで食べるお昼ご飯です。それぞれが感じたことを喋り、職場や家庭、子どもの話など、毎回話題が付きません。全く異なる事業や、また同じ事業所で就労しながら一人現場など、なかなか他の人と接する機会がないと思いますが、同じ『建交労』の仲間として、このような行動を通じて交流できることも、意味のあることだと毎回感じています。

年に2回、春と秋の宣伝行動ですが、これからもみんなで頑張っって地道に続けていきたいと思っています。次回の春の宣伝行動は、来年3月頃に予定しています。みなさん誘いあって是非ご参加ください。

今後も建交労京都府本部女性部へのご協力をお願いします。

日本高齢者大会in京都

11月23・24日 日本高齢者人権宣言を採択



▲全体会での主催者あいさつ

第35回日本高齢者大会が京都市内で、11月23日から24日に行われました。社会や高齢者をめぐる様々な問題に対して、全国からオンライン参加を含む約五千人が集まり、情報交換し、それぞれの取り組みを紹介していました。

11月23日は午後から5つの学習講座、11の分科会が、京都市内の

各会場で分散して行われ、京都支部は京都教育文化センターで行われた第2分科会「高齢者の働き方と社会保障」に7名が参加。京都高齢者事業団と宇治高齢者事業団から、高齢者の雇用をめぐる情勢、事業団運営の状況などの報告も行いました。

24日午前は、左京区岡崎のロームシアター京都（旧京都会館）を会場に全体会が行われ、茂山千五郎家の狂言「蝸牛」が上演されました。続いて、前京大総長で人類学者の山極壽一名誉教授の「ゴリラから学んだ多様性と共生が生かされる社会づくり」の講演が行われました。……これが実に面白く、かつ考えさせられる内容で、会場内の書籍販売コーナーでは、山極名誉教授の著作物が飛ぶように売れ、品切れに。



▲「日本高齢者人権宣言」採択のようす

全体会では、かねてより検討されてきた「日本高齢者人権宣言」の採択も行われました。

日本高齢者大会は、1987年の第1回大会が同じ京都会館で開催され「高齢者憲章」が論議されて以来、2回目となりました。

来年の第36回日本高齢者大会は、11月に東京で行われることになり、大会旗が引き継がれました。

日本高齢者大会第2分科会

国の社会保障費抑制と高齢期の就労

佛教大学社会学部 浜岡政好名誉教授の基調講演より

日本高齢者大会にて、建交労が担当した分科会「高齢者の働き方と社会保障」全世代型社会保障政策と高齢期の就労」で、佛教大学の浜岡政好名誉教授が講演された内容をまとめました。

政府がすすめる「全世代型社会保障」政策は、国民医療費の伸び率を抑制し、年金支給額を抑えるなどで

社会保障制度を縮減させることを目的として、高齢者の就労を促進し、一層の社会保障の負担増と利用抑制を意図するものとなっている。「年金、労働、医療、介護など社会保障全般」という表記に変わり、就労問題が社会保障の中に取り込まれた。低賃金労働力不足対策と社会保障費用の抑制のためである。

「生涯現役（エイジフリー）」として、定年年齢の引き上げ、年金受給開始時期の選択肢の拡大（70歳以降）、私的年金制度の拡充（高齢期に対応した金融商品）を進めている。高齢者世帯の所得に占める公的年

金の割合は年々低下しており、無職世帯では社会保障収入だけでは生活費の実支出がカバーできていない。高齢者にとって就労は、もはや強制的なものに変容している。高齢者にとって生活のために自営などの仕事や雇用労働を続けざるを得ないことは、自律的な働き方ではなく、地域社会や他者のために何をしたらいいのかという、社会に働きかける活動がそぎ落とされていくことになっている。

現役世代が、送られてきた「ねんきん定期便」の内容を見て、将来に対して落胆している。ヨーロッパでは「早く年金生活に入りたい」と早期退職の要求が根強いが、日本では「百年安心」と称して政府が改定した年金制度が数年で崩壊しつつある。現役の若い世代にも、自分が「高齢期」を迎える時に備えて社会保障制度がどうあるべきか、高齢者大会で共に考えていくような場ができれば、と思っている。



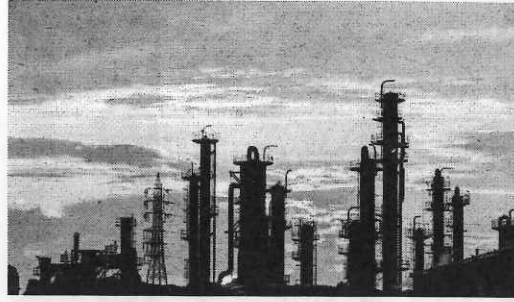
▲浜岡名誉教授

ひろば

公害と環境問題

京都高齢者事業団 森加計 桜さん

10月末、休みを利用して夜久野町に出かけた。車のラジオから、偶然ながらその日、福知山で今季初めて、見事な雲海が見られたと伝えていた。それで、以前に見た丹波高原の雲海とともに、高校時代に、横浜で体験した、大気の公害・スモッグを思い出した。



公害とは総務省によれば、事業活動その他の人の活動に伴って生ずる、相当範囲にわたる大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下及び悪臭によって、人の健康

又は生活環境に係る被害が生ずること……、とホームページにあった。

丘の上にあった高校からの帰路、横浜の港に開かれた盆地や扇状地には、風のない日には特に、どんよりとスモッグが低く、雲海のように固まっていた。いわゆる高度成長期だ。経済がすべてに優先していた。体に悪い空気だとは知っていたが、その汚い空気の層に歩いて入っていかなくて、帰宅できないこともわかっていていた。

1960年代の後半、その頃は四日市ぜんそく、水俣病、イタイイタイ病などがマスコミで報じられていた。だから自分も公害に興味を持ち、いろんな本を読んだ。とりわけ水俣病に関する本は3冊は読んだと記憶している。そして、大企業の身勝手は許せない、と強く感じた。

公害は、資本主義（そうでなくても）のもとで、人為的な、企業の身勝手によるものの結果なのだから、原因者は特定できるのだ。いままも発生している、身近な公害問題にも、もっと目を向ける必要がある。

地球温暖化問題にしても、二酸化炭素をはじめとする、温暖化物質の排出の責任者は明確である。先のCOP27でも、日本だけが「化石賞」という、不名誉な賞を受けた。何もしないどころか、温暖化防止に逆行しているからだ。温暖化を急激に進行させるのは、戦争が最たるものに違いない。

私は、時たま海を見に行く。江戸時代、あるいは産業革命以前、世界中の海や川、そして大気は、どんなに透明で美しかっただろうか、と思いをはせる。

事業団としても、次の世代にこの地球を引き渡すために、環境を守り、平和を守るために、いろんな方法で取り組んでいきたいものだ。

日常のこと

「あんたと話しがしたい」

ソーシャルサービス協会京都事業所 松下 恵さん

「ちよつとあんたと話しがしたい。ちよつと、ちゃんとお母さんと話をしよう」と、私に詰め寄る母。

私の母は、介護保険開設当初からのケアマネでしたが、今は認知症で週3回デイサービスに通っており、食事をして、一瞬で忘れてしまいます。

母「あんた、いつもお母さんに、ご飯食べ終わった言うけれども、どう考えても食べてないし。あんたがおかしい。お母さんは食べてないと思う」

私「そうか。じゃあ、空のお皿が置いておくことは、どう思う？ 他人様が来て、うちの家のご飯を食べたんやろか？」

母「そんなわけ、ないやんか！」
私「でもな、朝に置いていった食事が無いんやで。お母さん食べてな

いなら、他人様が来て食べてるんちゃうか？」

母「……」

私「納得いかないのかなあ。じゃあ、本当のこと言うわ。ウチな、ご飯買うお金ないねん。今日は我慢して」

母「……」

納得いかない表情のまま、仕方なく目の前にあったクッキーを食べ始める母なのでした。

食べたくて食べたいのなら、好きだけ食べてもらいたいところですが、なかなかそうは行きません。それでも、母なりに考えての行動だったのでしょう。

きちんと向き合って「話をしよう」。

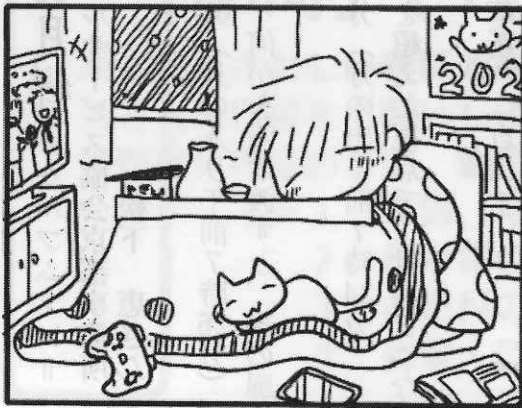
そんな風に仕事もこなしてきたのだらと、何時も思っている出来事でした。

12月のまちがいさがし

こたつで寝正月

2つの絵で違いが7カ所あります。

(答えは12ページ)



行楽

一人旅で佐渡島へ

建交労京都支部OB 中村 崇

今月は、日本高齢者大会の準備で出掛けられなかった
ので、6月に行ってきた佐渡島への旅を紹介します。

「JR西日本ジパング倶楽部」を使って、新幹線を乗
り継いで新潟へ。新潟港万代島ターミナルから、高速船
ジェットfoilに乗船。高速で航行するため、クジラ
や浮遊物との衝突を避けて蛇行すると船長が説明。佐渡
島に到着して「おけさ橋」を渡り、小雨が降る中、ホテ
ルへ。部屋の窓から外を見ると大きな湖のような入り江
があり、そこに養殖のカキ筏が沢山見え、夕食はそのた
めか豪勢だった。燗酒を飲みながら、ホテルの人と談笑
しながら食するのも、いいものでした。

翌日も小雨が降り強い風が吹いたが、レンタカーを借
り、島の東側を弾埼灯台はしきざきに向かう。街を出ると行き交
う車はほとんどなく、海沿いの道を30分ほどゆっくりと



▲弾埼灯台

走るが、途中の小さな漁港
や漁村の船は、ほとんど陸
に揚げられていました。
佐渡島最北端の弾埼灯台
は、映画「喜びも悲しみも
幾歳月」の舞台にもなり、



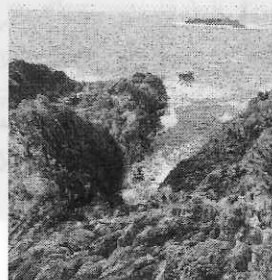
▲佐渡金山坑道

日本最大の金銀山で、長い坑道の一部が公開されており、
工夫の作業内容や管理面などが紹介されているのですが、
管理者（武士・町民）の生活ぶり
は紹介されるが、工夫のありま
せんでした。坑道内は少しヒヤッ
としていました。
あと、特別天然記念物「朱鷺とぎ」
を鑑賞し、佐渡島南部を回ったの
ですが、これは別の機会に。

岬の先に立っていました。続いて
「大野亀おののかめ」へ。標高167メートルの一
枚岩が海に突き出て、日本三大巨
石といわれており、近くに行く
と黄色い花畑。黄色い百合のような
大ぶりの「トビシマカンゾウ」と
いう花でした。日本では、ここと山形県酒田市の飛島に
しか分布していないとのことでした。

この後、島の西側を南方面へ。こちら側は小さな島が
多くあり、その島や海岸の岩肌には波が飛沫を上げてぶつ
かり、まさに日本海の荒波そのもので、青森の竜飛岬を
思い出しました。海岸沿いに40分ほど一路南へ。めざし
た尖閣湾揚島遊園せんかくわんあけしまゆうえんは、高さ20メートルの絶壁と岩礁が作り出す
景観で、北陸の東尋坊並みの絶壁でした。

続いて、佐渡奉行所跡を訪ね、史跡「佐渡金山」へ。



編後集記

日本高齢者大会も閉幕し、今年の大きな行事もほぼ終えました。この報告もかねて、今号も12ページ建としました。▼ソーシャル京都事業所の松下さんから「記事集めに苦労されているなら」とご投稿いただいたばかりか、毎月の連載記事も、お忙しい中、お引き受けいただきました。有り難いお申し出に、感謝感激雨霰。

今年も暮れになりました

NHK『チョコちゃんに叱られる』で、大人になると、あつという間に1年が過ぎるのは、トキメキがなくなつたから、というのがありました。▼確かに日常でトキメキは感じないけど、目の前を次々に、様々な課題が湧いて出て、場当たりの対処を重ねるうちに「あつという間に1年が過ぎる」。振り返って「今年は何を成し遂げたかなあ」と、年の初めか

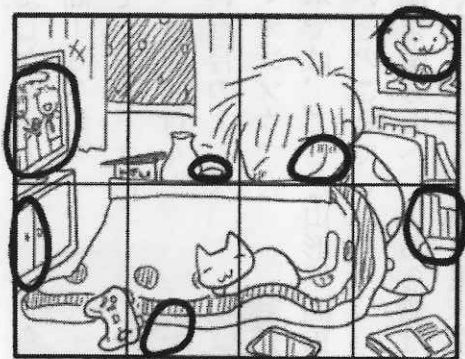


表紙『豪壮な日本一番・知恩院の山門を少し入れての紅葉を』

だんだんと歩くのが辛くなつて来た私。電動自転車なら随分楽に移動出来て、思いのままに。あの有名社寺につながる街を移動ができて、楽しかったです。紅葉を探しながら何点か絵にしました。

上林常哲さんのブログより

らは、想定外の年末の状況。▼清水寺の森貫主が書く「今年の漢字」は「戦」。今年はロシアのウクライナ侵略戦争が勃発しました。▼この戦争で我が国も防衛力強化が叫ばれ、敵基地を直接攻撃する戦力も必要と、防衛予算の増額が当然視され、このために増税するとか。▼報道では、ミサイルを揃えるとか新型戦闘機の開発とか、モノを買う話ばかり。自衛隊員の増員は？▼来年の今頃には、想定外の日本の状況になりはしないか。危ない方向に行かぬよう、憲法九条で歯止めを掛けんと。(や)



まちがいさがしのこたえ